

消防団だより

第 7 号

発 行
富 士 市 消 防 団

富士市永田町1丁目100番地
電話 (0545) 51-0123
内線 (3333)
FAX (0545) 53-4633

“自分たちの街は自分たちで守る”

「宝」に磨きをかけよう

消防団長 渡井公平

現代の消防団は近代的に装備され、組織もそれにふさわしいものとなってきて居ります。しかし、その発端は江戸時代に遡ります。すなわち、「町火消し」の精神は、今もなお受け継がれ、これからも変わることなく伝えて行かなければならないものと思えます。その精神とは、「地域住民への奉仕」であり、「市民生活の安全を守る」ことが我々の任務であります。これは時代が変わり、装備が近代化されようとも基本となるもので、代々受け継がれて来た「精神と任務」を改めて思い起こすことが必要であります。

要であります。それは、「宝」でもありません。近年、急激な社会変化の中で、価値も大きく揺らぎ変りしています。特に、地域への参加意識が薄薄となり、個々の利益を追及することが目立ちます。地域活動や取り分け、我が消防団活動への若手団員の補充に悩まされているのが全国的な傾向となっております。

しかし、我々が受け継いだ消防団の「宝」を磨き、その光を多くの人達に知ってもらうことが必要であります。「宝」を磨くとは、つね日頃か

に充実発展を遂げてまいりました。今日では、火災に対する予防、警防はもちろん、救急、救助から地震、風水害等への対応まで極めて広範囲な消防活動により地域住民から深い信頼を勝ち得ているものであります。しかしながら、都市化の進展、社会経済の変化に伴って、災害の態様は複雑多様化かつ、大規模化する等一層危険性を内包し又、増大している状況にあります。特に、一昨年の阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件など多くの尊い人命を失う大惨事を契機として、消防に寄せられる期待と安全に対する市民の意識はかつて

消防防災庁舎建設に向けて

消防長 大久保重忠



消防団員の皆様には日夜防災の第一線に立って、火災や災害から市民の生命、身体、財産を守るためご活躍されておりますことに対し、深く敬意を表わしますと共に、心より感謝を申し上げます。

日本の消防は昭和二十三年に自治体消防として発足して以来、五十周年を迎えることとなります。

富士市消防も多くの先輩と関係各位のため努力により組織体制、施設、装備等の各般にわたり、着実

に充実発展を遂げてまいりました。今日では、火災に対する予防、警防はもちろん、救急、救助から地震、風水害等への対応まで極めて広範囲な消防活動により地域住民から深い信頼を勝ち得ているものであります。しかしながら、都市化の進展、社会経済の変化に伴って、災害の態様は複雑多様化かつ、大規模化する等一層危険性を内包し又、増大している状況にあります。特に、一昨年の阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件など多くの尊い人命を失う大惨事を契機として、消防に寄せられる期待と安全に対する市民の意識はかつて



ら基本的な訓練(訓練礼式・ポンプ操法)を正しく身につけることでもあります。そして、常備消防との密接な協力体制の下、自衛消防組織や自主防災会とも連携を取り、予防消防に徹し、災害発生時には今まで培った消防技術(訓練礼式・ポンプ操法)を正しく身につけることでもあります。そして、常備消防との密接な協力体制の下、自衛消防組織や自主防災会とも連携を取り、予防消防に徹し、災害発生時には今まで培った消防技術(訓練礼式・ポンプ操法)を正しく身につけることでもあります。

た消防技術を駆使し、「こと」に対処する必要が有ります。

幸いにして、富士市消防団は市民からも信頼されており、この信頼に応え、誇りを持って「宝」を守り、これからの活動に取り組んでほしいものと念願しております。

富士市消防団活性化推進計画も順調に進捗しており、本年は若手団員の補強に重点を置いた取り組みを行い、OB及び地域の皆様のご協力も頂きながら実現に向けての第一歩を踏み出す所存であります。又、将来的には女性消防団員の誕生も検討すべき時期に來ているのではないかと考えます。

ハードな面、そしてソフトな面ともに、今後さらに充実し、名実共に歴史と伝統ある富士市消防団が発展し、さらなる活躍を期待します。

応も含め、大規模災害時の迅速正確な指揮命令及び情報収集のため高度な緊急情報通信システムを導入することにより消防体制は飛躍的に強化充実されます。しかしながら、明日起きても不思議でない東海地震は、その被害規模も甚大かつ広範囲に渡ることが予想されますので、現有の消防力での対応には限界があり、被害を最小限に抑えるためには地域を守る消防団の活動は重要であり、その組織力、行動力に期待をするものであります。

私達は消防防災に携わる者として現状を十分認識し、時代に即応した消防行政を展開すると共に、安全で住み良い街づくりのため、一致団結して消防使命の達成のため努力精進されることをお願い申し上げます。

規律二十年を振り返って

第十分団 部長 高橋 国男

「カンカンカン」市役所の広報が鳴る。耳を澄まし緊張の瞬間が走る。俺達の区域内ではない。胸を撫で降ろす。これが消防団員全員の本音と
思います。私が入団した二十年前と
変わらない光景です。

入団当初、市訓練大会の訓練礼式
の部では、第四方面隊が五年連続優
勝、我が第三方面隊が五年連続準優

勝した事を思い出します。

その後、昭和五十三年に富士市規
律訓練礼式選抜隊が発足しました。
私も一員として、支部・県大会と優
勝を目指し練習の毎日でした。

仕事・家庭・消防と、綱渡りの様
な忙しい日々が続きました。選抜隊
が解散し、大会時期になると家族に
は「消防が仕事なの？」と言われな

地域の中の消防団

第二十二分団 部長 芦 沢 直 洋



「ピーン・ピーン、訓練、訓
練火災指令/ただ今、久沢東、鷹岡
中学校グラウンドに火災発生/消防団
は第二出場。二十三分団、二十一
分団出場」九月八日、好天の中、鷹

中グラウンドにて恒例の富士市民体育
祭・鷹岡地区大会が開催され、昼休
みの富士サンパ等のおどりの後、首
記のアナウンスが流れました。団員
は速やかにポンプ車に乗り出し出動で
す。今年も、両分団長の提案で各区
に配備されている小型ポンプを使用
しての操作が披露された他に、例年
行っている放水訓練演技も天候に恵
まれた当日は、土埃があまり必要に
応じて回数を増やして大会を手助け
しました。

また、団員自らも各区の代表選手
として種々の競技に対し積極的に参
加しています。

この様に、消防団として地域との
活動は、色々な形で協力し合い、密
接な関係にあります。団員の減少
を克服したく、若い行動力ある団員
を求めています。

がらもつい出掛けてしまい、大変迷
惑を掛けました。

左翼、右翼、指揮者と県大会のサ
イクルヒットを飛ばしたが、指揮者
として大会に出場した時の事を思い
出すと、今でも列員を初め、指導員、
応援に来て頂いた方々には、入賞も
出来ず悔いの残る大会でした。

二十一年間、規律一筋の消防生活の
中で平成二年には訓練礼式の指導員
を任命され、今まで培った経験をこ
れからの訓練の中に折り込みながら、
消防団活動に従事して行きたいと思
います。

私達もかけの消防団員

第八分団 家族 仁 藤 嘉子

消防団員の皆様、団活動ご苦労様
です。

八分団の詰所が新築されたのを機
会に、男性だけの消防ではなく、女
性もかけの力になればと、各班ごと
に詰所の掃除をする事にしました。

最初は月一度でしたが、班が一回り
してから大変と言う事で二ヶ月毎に
変わりました。仕事を持っていない人、
小さい子供さんの居る人等それぞれ
で、全員が揃うのは難しいけれど皆

で協力し合っています。

私達三班では分担を決め、和室・
流し・二階・階段・トイレと分けて、
その中でもポイントを決め、重点的
に奇麗にする様にしています。

掃除が終わってからは、皆で食事
をしながら親睦を深めています。
団員の皆様は、消火活動や訓練で
の事故には十分気をつけて活躍して
下さい。

平成八年度全国統一防火標語

便利さに慣れて忘れる 火のこわさ

突然の分団長就任

第十五分団 分団長 小 杉 章

五月十七日、突然携帯電話に、分
団長死すの連絡が・・・

何が何だか分からないまま仕事を
中断し病院に駆け付けました。

病院に着くと、もはや分団長は亡
くなっており、原因を調べていると
の事でした。

奥さんと言葉を交わしても、信じ
られない出来事に困惑している。昨
夜まであれだけ元気だった分団長が
聖朝突然、何があったのかと家族は
勿論我々もまるで狐につままれてい
る様な思いであった。

翌日通夜、十九日の日曜日に告別
式と、慌ただしく三日間が過ぎまし
た。告別式には団長を始め消防関係
者が多数弔問し、盛大に見送る事が
できました。

五十九歳と、まだこれからという
時に逝ってしまった分団長。あなた
は人が一生かかっても出来ないくら
いの奉仕活動を各種の団体で行って
きました。その中でも特に消防団活
動は、入団以来精力的にこなしてき
たと思います。そして分団長として
頂点に立ち、二年目を迎えようとし

た矢先でした。さぞ心残りの事と思
います。

私も、本年四月に副分団長を拝命
したばかり、未熟な自分に分団運営
など荷が重すぎます。まだ早すぎま
す。しかし、そんな事を言っても始
まりません。分団に入団してあつと
いう間に二十年が過ぎ、多くの先輩
にかわいがつてもらった頃が大変懐
かしく思い出されます。

これからは、その楽しい思いをす
べての団員が味わえる分団となつて
いくよう努力したいと思えます。若
い十五分団ですが消防精神を忘れず
に、地域に信頼され愛される消防団
を目指して頑張って行きます。

「消防人生二十年」

第四分団 部長 吉村 務

入団して二十余年、この原稿を書く事にあたり、自分の消防活動を振り返る機会を与えてくれ、戸惑いもし、感謝もして居ります。

何の疑問も無く過ごして来た事は、一言で団員の皆がボランティア精神を理解した上での人間関係で結ばれているからだと思えます。

二十年間、誰一人として消防が嫌で辞めた人は居りません。火災出動、訓練、行事等率先して行動する気持

を育ててくれた先輩達に拍手をおくります。

訓練大会の選手を卒業した自分は、四分団の素晴らしい伝統を受け継ぎ、皆さんの手助けをして行く事を使命とし、これからも充実した消防人生を送って行こうと思う。

随分と意気込んで書いてしまったが、せつかくの人生「地域の為になっているんだ」と言う気持を持って楽しく消防活動に励んで行きたい。

救命講習で得たこと

第十四分団 団員 三枝 博

「消防団員全員が講習を受けることになっていきます！」

最初は「えっ」という思いで「何も今、全員が受けなくてもいいのでは？」と・・・

受講後「早く受けておいて良かった。」正直な感想である。

「何が」と問われると、一言では表わせないが、強いて言えば「心構えができた。」ということだろう。

例えば、家族の一人が倒れた時、医者には電話をしたが、到着するまでには時間がかかる。意識がない。

今までは手をこまねいて見ているだけである。慌てるだけで、大丈夫かどうかかも知れないまま。

講習をうけた今、一刻を争うのか？脈は、呼吸は？少しでも状態が把握

型でき必要ならば対処もできるだろう。たった一回の講習である、過信してもいけないが、誰も何もできないよりは良い。勿論そういう事は起さない方がよい。

文章で書けば月並み、誰もが考える事ではあるが、自分にとって隣り近所や肉親の事を考えると、かなりの力になれると思う。

講習会は定期的に行くと聞いている。普段接しない事でもあり忘れる事もあるだろう。続けていくべき事である。

堅い話をしてしまったが、最後に講習会で個人的に一つ望む事になるが、もう少しスタイルの良いモデルを使用して頂けると、もっと身が入るかなと思っている。

入るかなと思っている。



恒例となった「消防まつり」、どの分団も売り物に四苦八苦している事と思えますが、私の所属している

万歳！第三分団

第三分団 団員 青山 剛

第三分団に入団して、はや二年になり、あつと言期間でした。

入団のきっかけは「吉原祇園祭」に参加し、殆どの参加者は消防団員、そのOBでしたので誘われるままに入りました。結果としては入団しましたが色々悩みました。一種の恐怖めいたものがありました。入団して見るとなかなか面白く一挙にはまってしまうました。

やはりきっかけは必要ですね。勧誘してくれた方には大変感謝しております。

入団と同時に訓練儀式の選手に選ばれ、大会に出場しました。練習はきつかったですよ！

普段、命令系の仕事に携わっていない事もあってカルチャーショック

大変だけど好きな消防まつり

第二十三分団 部長 藤原 公一

分団では、毎年ラーメンと決まっています。

消防まつりといえばラーメン、ラーメンとくれば第二十三分団と言う程に定着しつつあります。

ラーメンも売れる時間帯が昼食時に集中するので、調理場は蜂の巣をつついたような騒ぎとなり、調理人は作業服を脱ぎ、振じり鉢巻きで取り組んでいます。ラーメンも数多く作るので、毎回、分団員の奥様方や

家族の方々の応援を得て非常に助かっています。

私は、調理の方は苦手なものであれば、接待、呼び込みを行い、声が囁れたと言っては、泡の出る水で喉を潤して頑張っています。

ラーメンを食べた事の有る人も無い人も、消防まつりでは第二十三分団のラーメンを食べにきて下さい。

大きな声で騒いでいる私がいると思えます。



でした。自分がこの場にいること自体不自然に思えました。大会成績は

入団後、新入団研修、市・支部・県の三大大会、消防まつり、夜警、出初式等いろいろな行事がありました。私に心地好い刺激を与え続けてくれた二年でもありました。

また、地域社会に貢献する事も確かですが、自分自身の為になっっている事に気付かされました。

今後とも、この様な心地好い刺激を与え続ける団体であって欲しいと思いますし、私自身、団員の一人として地域社会の貢献に努めて行きたいと思えます。自分のためにも・・・

追伸 今春、新入団員三名が私と同様に『ハマリ』始めております。

グリーンパークに行ったらよ

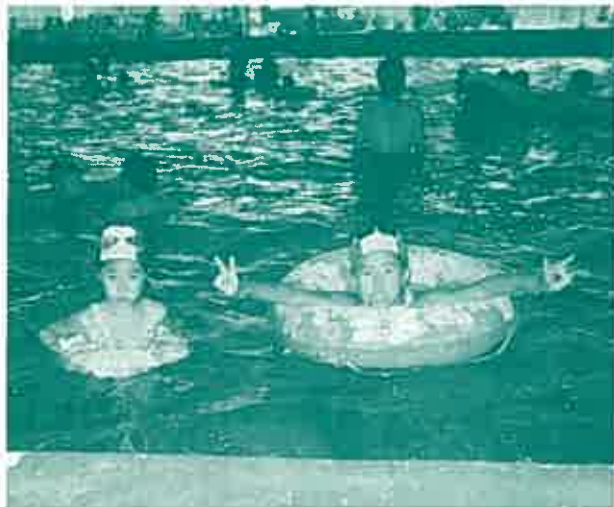
第九分団 家族 渡 迎 咲 妃

今日私は、お父さんがはいついてい
るしようぼうのおじさんとそのかぞ
くの人たちとミルクランドとグリー
ンパークへ行ってきました。

朝バスに乗り、はじめにミルクラ
ンドに行きました。ここは、うしの
ちちをしぼったりバター作りをし
たり、どうぶつにえさをくれたりでき
ます。牛や馬を近くでさわることに
でき、こわかったけどたのしかったです。

次にグリーンパークへ行きました。
お昼はバーベキューで、やさいやお
にくや魚を焼き、ひつじのおにくを
はじめて食べました。自分でやいた
ので、とってもおいしかったです。
おなかもいっぱいになり、まことにま
たなみのプールに行きました。

はいるときはプールの水が冷めた
かったけれど、あそんでいるうちに
あたたかくなってきました。このプー



ルは、一時間に一回なみがでてくる
だけなので、つぎのなみがまちど
うしかった。なみは、私のせよ
も高く、なみにのまれそうになっ
てこわかったです。妹たちは、なみに
しずめられてしまいました。

だから、私もう一度つれていって
あげ、ジャンプしたりもぐったりし
ていっしょにあそんでやりました。

次は、ゴーカートに一人で乗りま
した。はじめはこわかったけど、す
ぐになれて、スピードをあげてもカ
ブがまがれるようになり、たのしか
かったです。

次にアスレチック広ばに行き、の
ぼったりすべったりしました。

グリーンパークは、はじめてだっ
たけど一日たのしくあそびました。
しようぼうのおじさん、おにいさ
ん、きょうはありがとうございま
した。これからもがんばってください。

消防の旅に出かけて

第二十五分団 家族 山 口 真 季



六月二十三日、消防で日本ラン
ドへ行った。バスに乗っている間は、
何に乗れるのかワクワクした。

そして、日本ランドについた。ほ
かの分団を少し待って、いよいよ自
由行動になった。

友達と「はじめどこ行く?」とか、

話合って、大迷路『冒険のとりで』
に入ることにした。ここは三つのス
タンプをおしながら迷路をぬけるも
のだけど、少し迷ってしまった。で
も、それなりに楽しかった。

お昼まで、いろいろな乗り物に乗
った。ダイビングコースターは、ゆっ
くりでも横に体がゆれた。友達と「け
っこう、おもしろかったよね」「次は
どれに乗りよう」と、いろいろ話をし
た。

そしてお昼、ジュースとおべんと
しろかったです。おみやげに、とて
もきれいな色がつる動物のシル
をかかってきました。それから、シャ
チのパズル、バンダナをかかってき
ました。

次に行ったところは、『まかいの牧
場』です。わたしの一番の楽しみは、
まかいの牧場で馬にのることです。
わたしは、馬にのったことが一度も
なかったもので、どうしてものりたか

なかつたので、どうしてものりたか
なかつたので、どうしてものりたか

うが出た。食事後、お父さんをつれ
て、水陸両用車に乗った。ガタガタ
ゆれて、おもしろかった。
午後は、午前よりもたくさんまわ
れた。なかでもゴーカートは、四回
も乗り、風が当たって気持ち良かっ
た。

あれこれたくさん乗ってはしゃい
でいるうち、あつという間に、時間
になってしまった。おみやげ店で、
友達のおみやげを買って、バスに乗
り込んだ。

今日は、とても楽しくて、ストレ
ス解消になった。ほかの人達も、と
てもつかれているらしく、バスの中
で寝ている人がほとんどだった。
消防の旅もすごく楽しかった。

たです。それから、馬にのるけんを
かって、はじめて馬にのりました。
はじめのほうは、落ちそうでこわか
たけど、馬についていてくれるお兄
さんが、楽な方をおしえてくれ
たので、おわりの方では、とても楽
しくなってきました。もう一度のつてみ
たくなりました。

それから、いろいろな所へ行って
楽しかったです。ガラスで作った物
が売っているおみやげ屋があったの
で、そこで、ガラスのイルカをかっ
てきました。とてもきれいで、かわ
いかったです。

そして、最後に『富士国際花園』
という所に行きました。はじめはど
ういう所なのかな?と思っていた
けど、入ってみたらとてもきれいで、
お花が上からつるさがつていたり、
たくさんおいてあったりして、とて
もきれいでした。

また、来年も行ってみたいです。

楽しかった消防のバス旅行

第十六分団 家族 川 田 典 江

消防のバス旅行の一番はじめに行っ
たところは、『白糸のたき』でした。

そこでは、とてもたきがきれいだし
た。たきの水が落ちているみずうみ
の水は、エメラルドグリーン色でと
てもきれいでした。黄色のこいもい
ました。

次に行ったところは、『WONDE

R・MUSEUM』というところへ
行きました。そこは、静岡にあるアー
サー美術館に、すごくにているとこ
ろでした。かべに絵で書いてあった
物は、本物のように見えました。そ
れから、場所をいどうすると、足が
太くなったり細くなったり、長くな
たり短くなったりして、とてもおも



火災発生

第五分団 家族 堀野育代

火災発生の際に入ると、父は真夜中でも飛び起きて、まず外にでます。そして、自分の所属する第五分団名が呼ばれるかどうか耳を澄まし、呼ばれると直ぐに防具を揃えて詰所に飛び出して行きます。

普段はわりと穏やかで、走る事など滅多にない父のそんな姿を見ると、怪我をしないか心配すると同時に、とても頼もしく思います。

市の消防署員の方たちだけでなく、正義感あふれる分団員の力があってこそ、火事を早急に鎮火させる事が出来るし、私達は毎日安心して安全な生活を送る事が出来るのだと思います。

ます。

消火活動だけでなく、町内毎の消火訓練や「富士市消防まつり」の時等にも父達は力を発揮します。特に年に一度の消防まつりでは、大きな鍋でモツを煮たり、ジャガイモをふかしてジャガバターを作ったりしてお客さんに安く売っています。

他の分団でもタイ焼きや焼きそば等おいしそうなものが色々売られており、小さい頃は私も良く連れて行ってもらいました。

父や団員の方たちには、これからも変わらない正義感で、私達の町を火事から守ってほしいと思います。

旦那と消防と私

第二十四分団 家族 村松美香

二十四分団所属の彼と結婚し、半年が経ちました。

一緒に生活していると、今まで気づかなかった性格が見えて来るもので、大ざっぱで他人まかせのように思っていた彼は、実は大変責任感の強いタイプだったことが分かりました。この性格は、消防の時さらにパワーアップして発揮されるのです。

朝、何度起こしても「んー。」ばかりでのもんぱりとした寝起きのなのに、先日の火事の時などは、市の広報に敏感に反応し「ただ今、火災が、天間・・・」まで放送された時点で、

すでに作業服に片手を通していた事やいつだったか、夜中に地震のあった時言われた言葉「もし、大きな災害の出るような地震があったら、俺は消防で出るから、お前は一人でも頑張れ。」等、本当に消防団向きの性格で、彼を勧誘した二十四分団長さんは、見る目があったんだなと感心しました。

パワーアップした責任感により、毎月一日と十五日の定例会議には、外出していても午後八時前には帰宅し、とても楽しそうに話所に出掛けます。この会議は度々、午前三時頃



家族慰安旅行に参加して

第十九分団 家族 遠藤公子

久々のバス旅行で、私も家族も大喜び。行き先は、箱根の小涌園。

この家族慰安旅行は、三年に一度行われているようですが、日頃から家族にも、消防団活動には、理解と協力を、又ご支援をいただいているということで、感謝の気持ちとして招待して下さること。

バスの中では、分団長様はじめ団員の方々に、何かとお心遣いいただき、大変お世話になりました。皆さま

第四方面隊家族慰安に思う

第十三分団 団員 千葉和男

三十年以上前になりますでしょうか。町内の子供会で箱根の小涌園へ行った事を思い出しました。当時は温泉プールと大浴場位しか無かった様でしたが、結構楽しかったと記憶しております。

現在では、二十種類の浴場のある「サンシャイン湯」とびあ」と言っ

まで及ぶこともあり、妻である私としては、帰りを心配しつつ肝臓の心配もしています。

消防団の活動は何かと大変で、突然の出動や冬の夜警、出初式、ポンプ車の操法訓練等、今まで知らなかった行事もたくさんありますが、地域のために更に活躍してほしいと思います。

ん和気あいあいとした、本当にまよりのある分団だと、いつも感心いたしております。

子供達にも「こどもの村」という遊べる場所があったので、ゴーカートや自転車に乗ったり、昆虫王国に入って世界の昆虫を見たりと、親子で楽しく過ごすことができました。今日は一日ありがとうございました。消防団員の皆様、これからも頑張ってください。



て溪谷を利用した露天風呂、ポリネシア風呂、熱帯植物園、子供の村でのアスレチック施設、体育館(冬期スケート場)、サイクリングロード等、大人でも目を見張る程の数え切れない施設があります。

当日の朝の天気はあまり良くなかったのですが、子供達はバスの中からトランプゲーム等に興じて、箱根山の霧を吹き払う位元気に過ごしておりました。

小涌園に到着し、大広間に各分団ごとに集合しまして、当日の打ち合わせをしてから、それぞれの分団ごとの遊びになりました。

十三分団は、子供の村で昼食のパーベキューを行う事もあって、そちらに団員と家族が向かいました。

アスレチックでは、高い所や危険な箇所では高学年の子供が低学年の子供を助け合ったり、又、運動の後ではお腹一杯パーベキューを食べ、普段とは違った笑顔のふれあいが出来、非常に楽しく過ごせました。

最後に、大勢の子供達と一緒に大中小のポリネシア風呂に入り汗を流しました。

帰途のバスでは、皆運動をして疲れたのか静かでした。車窓から富士の山々が一望出来、全員無事に家路に着く事が出来ました。

日頃の喧嘩から離れ、自然と親しめた一日でありました。

新ポンプ車を配備されて

第二十一分団 分団長 勝 又 啓 治



私が消防団に入団して、早や二十年になります。入団当初は十八名で運営しておりました。しかし、結末は堅く、訓練大会には一人で三種類(大型・小型・規律)に出場する様な年が何年か続き、大変ではあったが充実した団活動を行って来ました。

この様な歳月の中で、今も思い出すのが昭和五十四年に新ポンプ車が配備された事です。入団四年目の事でした。私達団員は、最新の機能・装備を搭載した消防車が配備される事に、期待と喜びで一杯でした。又、入魂式に於いては、分団幹部は式典進行等、招待者名簿の作成に苦勞していた様で、私達団員は招待者の前

新入団教育研修を受け

第一分団 団員 久保田 安 洋

消防団員となり一ヶ月が過ぎ、まだ右も左も解らず、先輩達に話を聞きながらも戸惑うばかりでした。

新入団員の教育研修で、消防団員の心構え、訓練を通しての厳しさ、講師や指導員の方々の情熱に驚き、

甘く考えていた自分を戒めました。まだ、五月半ばと言うのに当日は朝から暑く、『研修』が苦手な自分は、気が進まなく、はつきり言って嫌でしょうがありませんでした。また、座学が半日もあると、『我慢の始まり・始まり』って感じだ!

記憶しております。そして、私にとつては二度目の新ポンプ車の配備となりました。それも新米の分団長としてです。役員会に圍り、何をどの様にしたら良いかを決めました。

平成八年十月七日、消防庁舎前で引き渡し式には、市長をはじめ、市議会議員、消防長、団長、関係職団員の出席を頂きました。この中で市長には激励の言葉、団長訓示があり、団員一同、今以上に消防精神の意識向上と、迅速なる行動並びに技術向上を再確認し、地域住民の生命・財産を守る事がいかに大切か、肝に命じた意義ある式でした。

で放水演技を行ない、その緊張感はい操作大会とは違ったものがあつたと

そんな暗い気持ちで始まり、団長の開講の礼で一変した。『やりなおし』張りのある声で一撃。前から二列目に座ったのが間違いだつた。気が合が入っているのが見るからに伝わってくる。

内容はよく覚えていないが、団長は、閉講時の礼は見違える位であつてほしいとの事を伝え訓示を終えた。次に長谷川副団長の講和は、温かな話し方で長期間消防に携わって来て、人と人との付き合いが財産と話された。

新入団教育で感じた事

第十九分団 団員 西山 靖 紀

今年、私を含めて四名が入団した。一年間の行事予定表をもらい目を通すと、『新入団員教育訓練』とあるではありませんか! 一体何をやるんだろうと、他の三名と話していると、先輩の団員が『講義と部隊訓練の実習をやるんだよ』と、説明してくれました。

五月十二日、待望の教育訓練に参加したのですが、思っていた以上にハードスケジュールで、地域防災に対する妥協しない姿勢が伺えました。渡井団長の訓示から始まり、長谷川副団長の『家族協力の大切さ』を交えた貴重な体験談に共感し、管理課長の『消防団活動』の説明を聞く頃には、気持ちだけは一端の消防団員に成りきっていたのも束の間、各団訓練に入ると浮いた気持ちも教官

の厳しい号令と共に吹き飛んでしまいました。不動の姿勢は事前に練習して臨んだが、なかなか六十度足が開かず、敬礼も手がすぐに出なく、部隊訓練では『駆け足』と『回れ右』の連発に、足は離れるし、腰は痛いし、悲鳴をあげてしまいました。しかし、

その後のポンプ車操法での、きびきびとした先輩方の模範演技を見た時、一刻を争う消火活動には、今日行つた一つ一つの訓練が生きているんだと痛感しました。

消防団に入団して

第七分団 団員 加 藤 博 光

入団したきっかけは、祖父が分団に入っていた事もあり、家族からの強い勧めで入りました。

入団当初は何も解らず、団活動にもあまり積極的ではありませんでしたが、実際の火災現場での消防活動を体験し、火災の怖さを実感して改めて消防活動の重大さを知りました。入団してから三年の月日が過ぎ、私達にも新しい家族が出来ました。

その家族にいつ災害が降り注ぐかわかりません。この家族を守るためにも消防活動に意欲的に取組み、日頃から災害への注意を怠らないようにしたいと思えます。その日頃からの注意が災害をなくし、万が一災害が起きた時にも被害を最小限に抑える事が出来ると思えます。

今まで、地域防災は受け身であつたが、立場が逆転した今、東海地震がいつ起きてても、迅速且つ適切な対応が出来る消防団員に一刻も早くなれるよう、先輩方に指導して頂き、頑張っていきたいと思えます。

常に消防団員であることを自覚し、これからの頑張りたいと思えます。

新入団教育研修

第二十五分団 団員 青柳安俊

入団後、すぐに研修を受ける事になりました。

前日の夜、研修に来る人は若い人ばかりだろうと思いい、軽い気持ちで床につきました。

当日、着なれない作業服を着て研修現場へ向かいました。着いて見ると若い人など一人もいません。少し不安になっている所へ先輩方の規律訓練を見せられ、素晴らしい集団行動でした。それを見ている新入団員の口から、ボンボンと「俺達も出来るかな？」と言う声が聞こえた時、皆自分と同じなんだと思いい安心しました。

研修に入り、消防団員についていろいろ話があり、富士市がどれだけ市民の事を考えているか、消防団員の仕事はどれだけ必要か、話を聞いていくうちに「俺達ってすごいな。」と思いいました。

午後の研修は、二グループに分か

指導員になって

第二十分団 班長 土屋仁

私が消防団に入団し、早いもので九年目を迎えようとしています。我が二十分団も若返りが進み、私が入団した当初に居た人も、半数を数えるほどになりました。

そんなおり、分団長より「今年四月から小型ポンプ操法訓練指導員を

れ訓練を行いました。非常に厳しく足の角度、目線など細かい所まで指示され、自分一人だけで無かったの

で逆に受け入れる事ができ、知らない人達ばかり一度も会話をしていないのに一人一人がしっかりとやり、集団行動が出来るようになりました。

続いてポンプ操法の訓練に入り、実際にポンプ車操法の模範演技を見た時は、本当に素晴らしい感激しました。その後ホースの持ち方、道具の持ち方などを学び、研修を終りました。

研修が終わり、一カ月もしないうちに、第二十分団より数百メートルの所で火災が発生し出動しました。ホースの持ち方を学んでいて良かったなあと思いいました。

初めての出動で、火災の凄まじさを感じると共に、消防団員の重要性を強く感じました。

やってみないか」との話があり、前任者が大変熱心な方だっただけに、私には荷が重たいと思いいましたが、日頃より消防団活動には積極的に参加してききましたので、引き受けることにしました。

先日、第一回目の小型指導員の練

団を去って

元副団長 芝田秀雄

新春を健やかに迎えお慶び申し上げます。

平素、団活動に日夜ご苦勞様です。一昨年の三月末を以て副団長を退任致しました。顧みれば、昭和三十三年に入団し、三十六年余の間には多くの方々にお世話になると共に、心暖まる出来事、様々な人との出会い、思い出が去来しております。重責を

習が、炎天下の市役所駐車場で行われました。過去に訓練大会の要員として、大会に参加した経験はありますが、自分のパートをこなすだけで精一杯で、熱意ある先輩指導員のもと、久々に味わう緊張感と冷や汗に心が引き締まる思いいました。これからは、真白い帽子に恥じないよう、先輩指導員に追いつけ追いつかせを目標に、教養上手と言われる指導員になれるよう頑張ります。

全う出来たことは、偏に皆様の温かいご指導と御懇情に依るものと心より御礼申し上げます。

一、団を外から観て
団員が懸命に活動し、地域住民と一体になっている様子を見て、非常に頼もしいと思いいが、深夜の火災出勤は短時間で願いたい。

一、分団長に一言
分団長は分団を統括し災害等に対処しているが、団行政の条例等種々の知識を習得すると共に、団幹部としての職責を十分自覚し、消火のみ

ならず予防消防にも目を向け、より良い消防団づくりに励んでほしい。
一、退団して
団現職中は他の役職を断り続けた反動か、退団後は一気に依頼されて忙しく動き回っています。所用で他市等へ行っても懇意な知人が居ることとは心強く、「意」をつくし「和」を以って接して来たからと思いい。

一、私の人生観
「あきらめは最高の健康法」と言った高僧が居たが、まず精神・肉体的ともに健康でなければならぬと思いい。団行事、社会的行事に携わっても健康で有るがゆえに物事が進む。色々思うにまかせ想いいを書きさせて頂きましたが、団活動が私の人生の一頁です。

消防車はなぜ赤い？



「道路運送車両の保安基準」という運輸省令(昭和二十六年七月二十八日第六十七号)で決められ、「緊急自動車」の塗色は、消防自動車にあつては朱色とし、その他の緊急自動車にあつては白色とする」と定められています。

一、消防車は赤と言われているが、法規上は朱色なのです。消防車が赤色とされた理由は定かではありませんが、明治三年にイギリスから輸入された六台のポンプ(馬引蒸気ポンプ、蒸気ポンプ、小型ポンプ等)すべて赤色であったことから、その後我が国で製作されるようになった消防車や腕用ポンプなども、

そのまま踏襲されて赤色が用いられた、というのが一般的な理由のようです。

それに、赤色は注意をひく色であること。炎の赤を連想させ警戒心を起こさせるなども理由の一つに数えられるでしょう。

外国の消防車の色について見ますと、フランス、イギリス、スイス、オーストリアは赤色、ドイツでは赤又は紫色、アメリカは、消防局によって色が異なり、赤・白・黄・青・黒色などを用いているようです。

参考文献 『消防雑学辞典』



初めての出初式

第十六分団 団員 板倉 昭次



消防団に入って、一年たらずに大きなイベントである『平成九年富士市消防出初式』に参加した。自分の思っていたイメージは、梯子の上で演技する程度であったが、全くの大違いで、色々な体験を味わわせて頂きました。

市役所前を通行止めして大通りを行進したり、何十台もの消防車が一斉放水するなど例年行っている様ですが、自分にとっては初めてで感嘆しました。しかし、この盛大な形での出初式が行えなくなるとの話しを耳にして残念に思います。

消防団は行事が多く、自分の仕事との両立は大変な面もありますが、地域のためにこれからも頑張りたいと思っています。

消防団員としての誇り

第二十二分団 団員 水澤 仁美

地域と一番密着している消防団員の事を、今もって『ただ集まって飲んで騒いでいる団体』としか思っていない人がいる事を入団して知りました。そのような事を思っている人には、一年でもいいから入団し、一緒に活動してみたら言ってみてほしいと思います。

自分が入団して先輩達の活動する姿を、この目で確かめ、つくづく『凄いな、誰でも出来る事ではない』

な」と、頭の下がる思いで一杯でした。

どんなに仕事で体が疲れているように、家族の団圓の中であれ、深夜の眠い中であれ、正月であれ、お盆であれ、極寒の中であれ、灼熱の中であれ、火災の広報を耳にすれば、ただちに出勤する。

自分の為でなく、火事等の災害で困っている住民の被害を軽減する為だけで行動する消防団の姿は、まさ

一一九番(火災・救急)

消防は一一九番、警察は一一〇番と日本では決められています。

明治二十三年、東京―横浜間で電話交換業務が始まり、火災通報の取扱いが始まる。

大正六年、火災報知用の専用電話が制度化された。

大正十五年、京橋電話局で初の自動交換方式が採用され、一一二番が火災報知専用とされた。

昭和二年十月一日、(一一九番)に変更された。

ちなみに、警察の(一一〇番)は昭和二十三年に定められたものです。

世界各国の火災救急通報番号ではポストン市で五三六一〇〇番、ソウル市は日本と同じ一一九番、シドニー市は〇〇〇番です。

~~~~~

に菩薩の姿と言っても決して大袈裟な事ではないと思います。

僕は第二十二分団に入ってから、分団長をはじめ先輩方に色々な事を教わりました。その一つには「団員に上とか下とかは無いんだよ、消防の役職は名譽職ではなく、責任職なんだよ。」また「いつも影で頑張っている団員が一番偉いんだよ。」と、心から励ましてくれます。このような人達がいる、第二十二分団を僕は誇りに思います。

まだまだ皆さんに迷惑ばかりかけている自分ですが、この分団の誇りをいつまでも大切に、皆と一緒に活動し、地域を火災から守っていく決意です。

平成九年度は市・支部・県査閲大会はもとより、ソフトボール大会、自治体消防五十周年記念大会が開催され、行事が目白押しとなっています。

## 消防団の主要行事

- ▽辞令交付式 四月一日
- ▽庶務・機関員・新入団員研修 五月
- ▽富士市訓練大会 五月二十五日
- ▽富士支部査閲大会 七月六日 富士宮市
- ▽静岡県消防団員査閲大会 八月 草薙
- ▽特別健康診断 八月下旬
- ▽総合防災訓練 九月一日
- ▽団本部・分団長行政視察研修 十月
- ▽団員ソフトボール大会 十月十二日
- ▽消防まつり 十一月九日
- ▽秋季火災予防運動 十一月九日～十五日
- ▽静岡県消防大会 十一月十四日 清水市
- ▽火災期特別警備 十二月二十日～
- 平成十年二月二十日
- ▽春季火災予防運動 三月一日～七日
- ▽自治体消防五十周年記念大会 三月七日 東京

## 団員募集

\*今、若い人の力を消防団は求めています。\*

消防団に入団するには、地域の消防団員または町内会長、区長さんに申し出て下さい。

## 編集後記

皆様からの多数の原稿を頂き、第七号を発行できたことに、あらためて御礼申し上げます。

富士市消防団広報紙編集委員

- 委員長 第三方面隊長 佐野 和雄
- 副委員長(第三方面隊長) 第十分団分隊長 鈴木 敏郎
- 委員(第一方面隊長) 第二十五分団分隊長 青柳 唯一
- 委員(第二方面隊長) 第十二分団分隊長 長尾 文彦
- 委員(第四方面隊長) 第十三分団分隊長 千葉 和男
- 委員(第五方面隊長) 第十六分団分隊長 吉川 高秀
- 委員(第六方面隊長) 第二十一分団分隊長 芦沢 直洋

## 原稿募集

消防団広報紙編集委員会では次回の原稿を募集しています。

○枚数 四百字詰原稿用紙一枚程度

○問合せ (消防団広報紙編集委員会)

又は、消防本部管理課

○締切り 十月末日

